

令和6年度第1回伊賀市文化振興審議会 議事録

■日 時／ 令和6年6月25日（火）午後2時00分～午後4時10分

■場 所／ 伊賀市役所本庁舎4階 406会議室

■委員

学識経験者		中川 幾郎	帝塚山大学 名誉教授	出席
文化関係団体	俳句文学関係	植田 美由喜	芭蕉翁顕彰会	出席
	美術関係	津田 義夫	市展「いが」運営委員会	出席
	音楽関係	鳥居 明夫	伊賀コミュニティオーケストラ	出席
公共的団体等	教育関係（小・中学校）	辻 晃子	校長会	出席
	福祉関係（保育・幼児教育）	中 恵	伊賀市社会事業協会	欠席
	福祉関係	田邊 寿	伊賀市社会福祉協議会	出席
専門知識を有する者	文化財関係	福田 良彦	伊賀市文化財保護審議会	出席
	産業関係	藤川 直紀	上野商工会議所	出席

事務局

[伊賀市]岡本市長（途中退席）

[企画振興部]風隼部長、佃次長

[文化振興課]西村課長、奥田、井田、高井

[美術博物館建設準備室]馬場室長

[公益財団法人伊賀市文化都市協会]山口副課長、杉本事業課主幹、百南事業課係長

■内 容

1 あいさつ

2 委員の委嘱と役員の選出について

3 協議事項

(1) 短期評価(2023(令和5)年度事業)と2024(令和6)年度計画について

(2) 2024(令和6)年度の取り組みについて

4 その他

・伊賀市からの報告

■議事録

1 委嘱状交付、あいさつ

市長	<p>伊賀市は、文化振興に関する条例、計画、審議会の3つが揃った、全国でも先進地であり、この審議会は、文化芸術に関する施策を推進し、心豊かな市民生活の実現と、市民が誇りの持てる伊賀らしさの創造に寄与することを目的に設置している。</p> <p>今年は、松尾芭蕉生誕 380 年の記念すべき年にあたり、記念事業としてさまざまな事業を展開している。</p> <p>伊賀市が「芭蕉翁のふるさと」であることを誇りとし、「伊賀の歴史文化」を守り、人々が豊かな心を育む場となり、持続可能なまちづくりに貢献する「ひろがる未来への拠点」をめざし、芭蕉翁記念館の機能を持つ美術博物館の建設について検討を進めている。</p> <p>将来にわたり誇りの持てる伊賀のまちづくりのため、積極的な意見をお願いします。</p>
----	--

2 委員の委嘱と役員の選出について

事務局	<p>伊賀市文化振興審議会は、伊賀市文化振興条例に位置付けられた審議会で、市長の諮問に応じて文化振興プランの策定やプランの目標の達成度や、効果に関することなどを調査審議いただく機関である。令和3年12月20日、計画の調査審議について諮問。</p> <p>今回は、新委員になり初めての会議のため、自己紹介をお願いします。</p>
各委員	自己紹介
事務局	事務局紹介
事務局	伊賀市文化振興審議会規則で、審議会に会長、副会長をそれぞれ1人置くこと、会長の選出は、委員の互選によることとしている。立候補や推薦はないか。なければ、事務局案を示してよいか。
委員	了解
事務局	会長に中川委員を推薦したい。
委員	了解
事務局	中川委員をお願いします。会長席へご移動し、挨拶をお願いします。
会長	委員の半数が入れ替わっている。新しい気持ちで頑張りたい。
事務局	以降は、伊賀市文化振興審議会規則第5条第1項に基づき、中川会長に会議の進行をお願いします。市長は、ここで退席する。
会長	<p>副会長の選任について、伊賀市文化振興審議会規則第4条において、会長が指名するとなっている。福田委員にお願いしたい。副会長席へのご移動を。</p> <p>協議事項に入る前に、事務局から何点か確認事項があるので説明を。</p>
事務局	資料、会議成立、会議・議事録公開の確認
会長	伊賀市における文化政策の仕組みについて反芻しておく。三重県内で文化政策を持っているのは3市。その中で伊賀市の条例は、県内最先端の科学主義的で計画も具体的である。審議会の仕事は、条例を基に計画という行政の仕事を監督すること。広

	<p>い利益を視野に発言していただきたい。</p> <p>会議資料は、これまでの行政の努力が結集している。事業カード一覧をみると文化事業の多さに驚くだろう。行政側の努力も鑑みた上で、大きな視野で考えていただきたい。</p> <p>プランの概要版をみると大切なのは人権。文化的なりテラシーを重要視している。アートに触れる機会の格差が、貧富の差などにより広がっている。プランは、この格差を是正するためにある。地域の地盤があってこそアート。プランは、地域住民が豊かな文化的生活を送れるためにある。文化行政においてイベントは従、主はあくまでも人権。アトリテラシーの確立を目指す伊賀市こそ、ふさわしい自治体である。</p> <p>それでは、事項書の3の(1)「短期評価(2023(令和5)年度事業)と2024(令和6)年度計画について、事務局より説明をお願いしたい。</p>
--	--

3 協議事項

事務局	(1)短期評価(2023(令和5)年度事業)と2024(令和6)年度計画について (概要版に基づき、文化振興プラン前期実行計画について 資料2に基づき、事業カード提出一覧(伊賀市分)について 資料3に基づき、事業カード提出一覧(伊賀市文化都市協会分)について 資料3-2に基づき、事業カード提出一覧(前田教育会分)について 資料4に基づき、3つの評価資料について 説明)
会長	説明に対し意見を願う。 行政と団体が上手く役割分担している。 ～質問なし～ なければ次に移る。 「(2)2024(令和6)年度の取り組みについて」事務局の説明を求める。
事務局	(2)2024(令和6)年度の取り組みについて (資料5-1、5-2に基づき、2024(令和6)年度の取り組みについて説明)
会長	ただいまの説明や報告に対し、質問や意見などがあれば発言をお願いしたい。
委員	資料2、3事業カード提出一覧で、記載のない部分がある。事業としてぶんとに委託しているものなどかもしれないが、整理して統一してほしい。 令和6年度の取り組みの2つ目「子どもや障がい者等の文化芸術に触れる機会の充実」の「経済格差等により文化に触れられない子どもへのアプローチに取り組む」について、子どもの居場所の運営をしていけたら福祉と文化のつながりが広がっていくので、引き続きよろしく願う。
委員	令和6年度の取り組みの1つ目「文化芸術との繋がり情報共有」について、事業の情報発信に問題がある。より効率的にしていくには、ニーズが一元的にわかるしくみを構築すべき。
会長	ぶんと市の事業の関わりについて事務局から説明を願う。
事務局	事業カードの書き方を整理していきたい。子どもたちの居場所について意見があ

	<p>った。第3の居場所にも関わっていききたい。情報共有の方法について、ぶんとと共に協議をしており引き続き行いたい。</p>
委員	<p>たくさんの事業が行われている。いくつか参加するなかで努力を感じる。</p> <p>資料4の指標②誰もが文化に親しむは、がんばらないといけない。平成30年度から考えている。数値は少し上がっているが、よりあげる方法を考えたい。</p> <p>資料2の各項目にまちづくりアンケート割合がある。文化芸術がさがっている。審議会は外部評価。内部評価はどうか。</p> <p>資料5-2の取り組みについて、計画に基づいてやっていることがわかりにくい。ロゴマークの検討を。字よりもやさしいもの。制作の取り組みの進捗は。</p>
委員	<p>アウトリーチ事業は、文化に触れるよい機会になった。現場からのお礼を伝える。4年間で全ての学校を回っていただける。よろしく願います。</p> <p>資料5-2の取り組みにあるクラブ活動の地域移行について、スポーツでは近々地域へ移行する動きが既にある。文化系の地域での指導者が確保できていない。これから調整をすすめなければならない。社会人になっても続けられる教育を目指したい。</p>
事務局	<p>指標②誰もが文化に親しむについては、コロナ禍を経て社会の変化があり、思ったよりも数値が伸びない。デジタル化が進んだことや、アンケートの方法が変わったことが原因。後期計画で方策や数値を検討したい。</p> <p>ロゴマークについて、公募するのがよいという意見があったが、事務局内で検討は進めている。今後進めていきたい。</p> <p>クラブ活動の地域移行について、文化系クラブの移行についても教育委員会から申し入れがある。国の動向を踏まえ教育委員会と協力していきたい。</p>
会長	<p>運動部では、目途が立っているとのこと。民間企業に委託した自治体もあるが、反対である。地域の人材とつながる良い機会となるはず。</p>
委員	<p>文化芸術活動で色々な会場へ行く。ハイトピアを借りる日数がもう少し長く借りられるとよい。崇広堂で行われるイベントなど、ぶんとでの活躍は素晴らしい。駐車場がなく不便である。</p>
委員	<p>音楽分野を代表してきた。伊賀市は立派な取り組みをしている。資料を見て事業の多さを実感した。クラシックのいろはの聴衆は、伊賀市の人口の1割を目指しているとのこと。活動団体が高齢化し、若者が来ない現状を打開したい。吹奏楽・コーラス団体は多くある。団体同士が連携し、発表の場があればよいと考えている。団体の実態把握が大事。代表者会議などして、伊賀市で何ができるのかということを検討する場が早急に必要。ぶんとでのプロのアウトリーチとともに地域のアマチュアのできることもあるのではないかと。このような話し合いの場で話題にしていきたい。</p>
会長	<p>この審議会で展望を開くべき。</p>
委員	<p>所属団体に芭蕉の講演会を開催し、学芸員に講演してもらった。記念館では、古典と芭蕉の関係の展示をしていた。500年の時を超えた伊賀の地にあることに感動し、事業の数の多さにも驚いた。よい事業が多くあるので横の展開を考えて連携してあげたいと思う。</p>
事務局	<p>ハイトピアの施設利用は、担当課に繋げていきたい。意見交換会で各団体の連携を</p>

	図りたい。芭蕉祭では、吹奏楽や合唱団を形成し再開する。各団体には、産業分野や生誕 380 年事業でもご協力いただいている。文化振興を進める上で協力を願う。
会長	今後の施策に反映できる意見も多かった。議論を深めるために整理したい。ぶんと の自主事業と委託事業とカードの中で重複している。
事務局	さまざまな形態で連携しているので、今後協議したい。両方あってよいものもある。
会長	「再掲」と明示。整理をするように学校と地域との連携の道を開くべき。文化事業 の指導者やコーディネートの人材がどれだけいるかを把握すべき。
委員	学校のクラブ活動の地域移行のスポーツでは、運営協議会をつくって指導者を募 集し、名乗りをあげている。
会長	文化でも同様に、人材の発掘や資金の分担も把握しておくべき。
委員	文化部にはどんなクラブがあるのか。クラブ活動の需要が知りたい。
会長	それらを把握するためのシステムが必要。その後、地元の団体へ照会ができる。ま ずは住民自治。何もかも自治体がすべきではない。文部科学省がクラブ活動の地域移 行を明言している教育委員会への申し入れをしておくように。校長会には、窓口をお 願いしたい。 アマチュアサークルの調査はどうしたらよいのか。公民館の登録団体、各施設の利用 状況の照会、何年に 1 回でも把握するかと行政が何でも援助するわけでは ない。どのような支援が必要かの聞き取りやシステム、情報集約の必要がある。 行政、住民、企業それぞれにすべきことがある。基本は住民自治。地域の責任、調 整。アートで差別性を解消していく。次のステップでは検討すべき。
委員	完璧ではなくてもまずはスタートすることが大事。
会長	ぶんとには、企業の協賛がある。これこそやってほしいこと。企業が市民として出 てくることが必要。岡田文化財団（イオン）などもそうである。ぶんとの方がやりや すい。 最後に、資料 5-2 の取り組みの条例やビジョンの周知について、公費が出ている 事業のチラシには「伊賀市文化振興条例、伊賀市文化振興ビジョンに基づく事業」の 記載をしているが、そろそろロゴマークを作成してはどうか。また、その記載をして いるかのチェックシステムを作る。公費を出している事業はクレジットを明記し、伝 える。 障がい者の文化芸術促進法がある。市町村の障がい者文化芸術促進計画を作って ほしい。この事業をどこが担当していくのか決めておくべき。障がい福祉課だと思 う。三重県障害者生活支援センターへ障がい福祉課から打診してもらい、施策として アクションを起こしていくべき。こちらは、調整課である。
事務局	障がい福祉課とは、庁内会議でも連絡を取りあっている。担当課として、どのよう な取り組みをしていくかということまで話はできていない。今後進めていきたい。 クレジットを入れることは、依頼している。チェックシステムについては、どのよ うにしていくか検討していきたい。

委員	<p>実際の活動の内容の把握をと、高齡化がすすんでいるという課題がある。私の若い頃には、若い人が参加していた。美術博物館建設の動きがあり、期待をしている。</p> <p>学校のクラブ活動の地域移行の話があった。企業もどのように関わっていくか。子どものことは学校、若者のことは企業。</p> <p>意見交換会のテーマが、子どもたちにどうつなげていくかとなっており、子どもや若者が大切である。これらのことを後期計画に生かしてほしい。事業の中には助け合えることが多い。これから努力していきたい。</p>
会長	<p>3 協議事項 について質問はないか。</p> <p>なければ、以上で議事を終了する。進行を事務局へ返す。</p>

4 その他

事務局	<p>「芭蕉翁生誕 380 年記念事業」について</p> <p>(資料 6 に基づき、芭蕉翁生誕 380 年記念事業について説明)</p>
事務局	<p>「伊賀市美術博物館基本構想」について</p> <p>(資料に基づき、伊賀市美術博物館基本構想について説明)</p>
事務局	<p>4 その他 について、質問はないか。</p> <p>次回の第 2 回審議会は、8 月 21 日(水)午前 10 時から。</p> <p>意見交換会を 7 月 25 日(木)午前 10 時から開催する。出席願う。</p> <p>質問や意見がなければ、以上で令和 6 年度第 1 回伊賀市文化振興審議会を終了する。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>～ 終了 ～</p>